

家庭	教科・科目 家庭基礎	単位数 2単位	対象学科・学年・クラス 全学科 2年 6クラス	備考 必履修科目
----	---------------	------------	-------------------------------	-------------

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族、子ども、そして社会とのかかわりについて理解する。 2 生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。
使用教科書	新家庭基礎 今を学び 未来を描き 暮らしをつくる (教育図書)
副教材等	データ&グラフ 生活ガイドブック (教育図書)

2 学習計画

学期	学習項目	学習の具体的内容
1 学期	オリエンテーション	家庭科についての学習の意義や内容、評価の方法を理解する。
	第1編 人とかかわる 第1章 青年期と家族 第1節 これからの人生に向かって 第2節 家族って何だろう？	自分らしさや家族・家庭の意義について考える。 ・青年期の課題を理解する中で、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たすことに関心を持ち、行動できるような状態を身につける。 ・今ある家族に関する問題を理解し、家族・家庭の役割・意義や法律など、時代とともに変化する家族・家庭について学習する。
	被服実習『エプロン製作』 ・ミシンの使い方 ・裁縫の基礎知識	・エプロン製作を通して、裁縫の基礎知識やミシンの使い方を理解する。 ○被服実習『エプロン製作』
2 学期	第2編 暮らしをつくる 第4章 食生活 第1節 食生活を見つめよう 第2節 私たちが食べているもの 第3節 安全・安心な食品を選ぼう 第4節 献立と調理	毎日営んでいる食生活について学習する。 ・食生活の問題点について考え、食生活の現状や課題を学習する。 ・栄養素の種類とはたらきやそれぞれの栄養素を多く含む食品について理解する。 ・食品衛生について消費者として知っておくべき知識を身につける。 ・栄養・食品の知識とともに、食事摂取基準について理解する。 ・食品の自給率や食に関する環境についても考察する。 ○調理実習1・2・3
	第5章 衣生活 第1節 なぜ服を着るの？ 第2節 私たちが着ているもの 第3節 衣服の管理を学ぼう	さまざまな面から衣生活を見つめ、学習する。 ・衣服の起源、衣服の機能や役割について理解する。 ・衣服の素材の種類、繊維の種類と特徴や性能について理解する。 ・衣服の購入・洗濯・保管・処分までの流れについて理解する。 ・衣生活における資源・エネルギー問題について理解する。 ・安全や環境に配慮した衣生活を考える。 ○被服実験1
	第6章 住生活 第1節 だれが暮らすの？ 第2節 どのように暮らす？ 第3節 これからの住生活とは？	住居に関する知識と技術について学習する。 ・住まいの空間や役割など基礎的な知識を習得し、安全で環境に配慮した住生活を送ることができる。 ・自分の住生活を見直し、豊かな暮らしを実現させるために何が必要であるかを考える。
3 学期	第1編 人とかかわる 第2章 保育 第1節 子どもの成長を見つめる 第2節 子どもの世話をしてみよう 第3節 子どもを取り巻く環境	子どもの世界にふれながら、保育分野を学ぶ意識を確認する。 ・子どもの発育・発達について理解する。 ・子どもの生活リズムや食生活・衣生活、遊びについて理解する。 ・親の役割や意義を知り、現在の親子関係の問題点にふれる。 ・子育て支援や子どもの権利について理解する。
	第2編 暮らしをつくる 第7章 消費生活・環境 第1節 何をどうやって買う？ 第2節 かしこい消費者になろう	消費行動において、意思決定のプロセスを学習する。 ・多様な販売方法や支払い方法について理解する。 ・消費者の権利と責任について理解する。

3 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点および内容	評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・衣食住の生活、家族・家庭や消費生活などの家庭や地域の生活について関心をもち、活用しようとしているか。 ・授業や実習に意欲的に参加し、実践的な態度が見えるか。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・衣食住の生活、家族・家庭や消費生活などの家庭や地域の生活についての課題を見つけ、学んだ知識・技術を生かした方法を比較検討し、意思決定することなどを創造できるか。
技能	<ul style="list-style-type: none"> ・衣食住の生活、家族・家庭や消費生活などの基本的な技能を修得できたか。 ・それらの技術を応用発展させ、適切に表現する方法を習得しているか。 ・課題や実習のレポートにおいて、的確に表現する方法を習得しているか。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の発達や生活の営みとのかかわり、家庭の意義や家庭生活の各分野について理解できたか。 ・調査や実習を通して、生活に必要な知識や技術を習得し、生活向上に役立つよう総合的に理解できたか。